



### ご祈祷とは

私たちは、自分で仏様をお願い事をしますが、法力を身につけた僧侶に祈願を依頼し、より強いご利益をいただくのが「ご祈祷」(特別祈祷)の意義です。

私たちは一生の間に様々な節目を迎えます。古来より日本ではその節々に儀礼をおこなってきました。神仏にこれまでの成長や無事を感謝し、これから先の加護を願って、人生を一步一步踏みしめ、思いを新たにします。

また、毎日生活していく中での様々な願い事を祈って、仏様のご利益を授かり、日々の心の支えにしようとするものです。

ご祈祷というと大げさな感じを受けられるかもしれませんが、人生の通過儀礼や日常の願い事といったごく当たり前の日本の風習でもあります。

如意寺でも毎日ご祈祷を行っています。いつでもお気軽にお申し込みください。



### 特別祈祷 (約20分)

- ◆ 年間毎日 … 9時～16時
- ◆ ご祈祷料 … 志納 (5,000円程度)
- ◆ お渡しするもの … お札・お守・お供物 (厄除箸) など
- ※ご本人が来られない場合は、代参(家族・知人)できます。遠方の方はお電話等でお申し込み頂くと、お札などをお送りします。
- ※できればご予約下さい。



### 水子供養

本供養と略式供養があります。

### 護摩祈祷 (待ち時間はありません)

不動明王の御前で清らかな火を燃やし、数々の供物を投入して願いを成就させる仏教の祈願法です。護摩木という特別な薪に願い事を書いて不動堂内で「お焚き上げ」します。下記の縁日にお参りの方に護摩祈祷をおすすめします。

- ◆ お渡しするもの…お札・お供物・(厄除箸) など
- ◆ ご祈祷料 … 1,000円～2,000円



#### 護摩祈祷を行う縁日(お祭の日)

- 新春初詣護摩祈願 (正月3日間)
- 節分星祭祈祷会 (2月節分)
- 日切不動尊大祭 (4月1日)
- 本尊千日会 (8月9日)



甘酒の接待も行っています。

また、毎月一日には一日護摩 (300円) をお焚き上げします。

**萬物光輝**  
ばんぶつこうき  
あけましておめでとうございます。  
この言葉は、春を迎え、万物が生命の輝きを放つことです。『春、如海』(春、海の如し)というのもあります。春の景色は海のようにだと色彩や気分について述べています。時に春一番が荒れ狂うこともあります。健康に気を付け感謝の気持ちで一年を乗り切りたいものです。皆様のご息災を祈念申し上げます。



### 花暦

みつばつつじ  
4月5～25日  
(ピークは中旬)



#### ～主なお花～

- 3月末… イカリソウ・ヒュウガミズキ
- 4月… ミツバツツジ・石南花
- 5月… ヒラドツツジ・山法師
- 6月… 沙羅・アジサイ
- 7～8月… アジサイ・サルスベリ
- 9月… 萩・ツリフネソウ
- 10月… 大文字草・ホトギス
- 11月… 秋明菊・山リンドウ

多数の山野草



4月のみつばつつじの動画です。→



### 年間行事

- 一月一日～三日  
〔正月三日間〕  
〔初詣〕  
新春護摩祈願、縁起物授与、甘酒接待
- 二月節分  
〔節分厄除星祭祈祷会〕  
厄除祈願他、甘酒接待
- 四月一日  
〔日切不動尊 柴灯大護摩供〕  
柴灯大護摩供、花説法もちまき、花説法
- 八月九日  
〔千日会〕  
如意寺本尊会、久美浜町あげての夏祭(昼間お参り)、夕刻より:法要、花火、灯笼流し、大文字焼き
- 十月中旬～十一月  
〔七五三詣り〕
- 十二月三十一日  
〔大晦日〕  
午後十二時四十分より自由に鐘がつけます、甘酒接待

#### 春の行事のご案内

##### 節分星祭祈祷会

- 二月三日(火)
- 厄除などの護摩祈願、甘酒接待

##### 日切不動尊大祭 柴灯大護摩供

- 四月一日(水)
- 午前10時～午後三時過ぎ
- 花説法
- もちまき





# ～心のやすらぎを求めて～

新年あけましておめでとうございます。

正月の意味は、数え年を主に利用した時代ではとりわけ重要でした。元旦に年齢が一つ大きくなるからです。厳かな気分でお正月の朝を迎え、家族で挨拶しあい、新しい年に思いを新たにす絶好の節目でした。満年齢を多用する現代では、誕生日を重視する傾向が強いようですが、やはり正月の意義を見直したいものです。

「一年の計は元旦にあり」です。

若い人は〈**今年の目標**〉を紙に書いて、部屋に貼ってみてはどうでしょうか。そして、今年の年末には、一人で反省会を開くのです。

一方、年齢が進むと、内容は〈**今年の目標**〉と同じでも〈**遺書**〉というタイトルにする人が増えているそうです。趣味を一つ増やすくらい気楽な気持ちで、きれいな和帖を買ってきて、あれこれ考えながら墨書します。ところが、あっという間に次の正月がきます。そこで、再び座りなおして、「これは出来た。今度はあれを加えて、これに気をつけて…」と考えながら書き直します。これを何十年も繰り返すうちに、筆の腕は上達し、文章は上手になり、人格は磨かれる。おまけにこういう人は、人生について常々考えているので、準備万端調べて心も落ちついていきます。しがたって、長寿にもなる。こんなうまい話はありません。

たしかに長寿の時代となりました。90歳代になっても畑仕事をしたり、麻雀をしたり、読書をしたり… 矍鑠として活躍されています。趣味を持ち、体を動かし、ゆったりとした気持ちで山や畑を眺める…。素晴らしいことだと思います。

最後に、それら数多ある関心事の中で、私はぜひ**仏教への関心**とか**寺社参拝**などの比重を高めてほしいと思います。私たちはつい、形あるものを確かなもの、信頼のおけるものとして大切にしがちです。財産・わが子・わが身体、たしかに大切ではありますが、あの世に持って行くことのできないものは、まさにこれら目に見えるものばかりです。それに対して、心の持ち方・誠実さ・元気さ・何かをする技など、目に見えぬものだけがその人らしい確かなものとして、いつまでも人の心に残るのではないのでしょうか。「目に見えぬものこそ不変かつ確かなものである」。仏教の中心的な教えであります。

**大自然・真理・仏法**など、形のない大なるものを思うことによって、大事だと考えている自己や身辺のものが軽くなります。そのような安らぎや心の自由を求める気持ちが、「**信仰**」の入口ではないのでしょうか。

なかなかむずかしいことですが、お正月を機会にあらためて思い起こしてみたいものであります。



## 『関西花の寺』って何ですか？

『関西花の寺二十五カ所』は、関西一円で「花の寺」として親しまれているお寺が宗派を越えて25カ寺集まった霊場会です。10名以上の団体で申し込まれると花の寺住職の「花説法（法話）」を聴くことができます。専用の『御朱印帖』もあります。また「念珠」、綺麗な「花守」などの授与品を集めて頂くのも楽しみの一つです。

関西各地を訪ねて「花の寺」参りをされませんか。詳しくは「関西花の寺」や当寺HP、または如意寺受所でお尋ね下さい。

## ことば

- ◆素敵だなと思ったら、伝えてあげよう。
- ◆大変だなと思ったら、声をかけてあげよう。
- ◆自分ももっと成長する。人類ももっと進化する。すべては途中経過の今である。

## 京丹後市久美浜町の主な年間行事

詳細は、市や当寺HPなどでご確認ください。(いずれも如意寺近くでのイベントです。)

二～四月初 雑祭(豪商稲葉本家)  
五月三日頃 **かぶと山公園祭**  
(如意寺対岸です)

七月初旬 七タコンサート  
(豪商稲葉本家・無料)

七月上旬 美濱町観光総合案内所HPへ

八月初旬 ドラゴン力ヌー大会  
(如意寺前の湾。団体で市に申込み)

八月九日 **千日会** (如意寺と地域一帯：花火や灯籠流し)

八月下旬 ぶどう狩り (久美浜町観光総合案内所HPへ)

九月上旬 梨狩り (久美浜町観光総合案内所HPへ)

九月(日は不定) 丹後ウルトラマラソン60kmコース (久美浜スタート→丹後各地)

十月第二日曜日 **神谷神社秋祭**  
(五基の太鼓台が町を練り歩く)

十月(日は不定) **久美浜まるかじり祭** (産業祭) (久美浜町浜公園で・フリマあり)

十一月六日 **北近畿は力二解**

十一月(日は不定) 関西学生駅伝 (久美浜スタート→丹後地域)

十二月第一日曜 **久美浜力キ**

**魚まつり** (小天橋) (この名称で検索。動画あり)

十二月クリスマス・大晦日・正月三日間の夜「クミナリエ」  
(かぶと山の大火文字点火)